

平成29年度

大学院文学研究科

募集要項

<秋季・春季>

博士前期課程・博士後期課程

日本文学専攻

英米文学専攻

文化財学専攻

鶴見大学

博士前期課程

文学研究科博士前期課程は、日本文学専攻、英米文学専攻、文化財学専攻から構成され、学士課程教育の基礎の上に、広い視野に立った深い学識を授け、各専攻分野における研究能力及び高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的としています。

入学者の受入れにあたっては、専攻分野に関する深い関心と学術研究に対する強い熱意を示すとともに、1) 専攻分野における学問内容及び研究方法について、学士課程修了段階に相当する基礎的な学力、2) 外国語についての一定の能力、3) 入学後の研究計画についての明確な展望、を有する学生を求めます。

博士後期課程

文学研究科博士後期課程は、日本文学専攻、英米文学専攻、文化財学専攻から構成され、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な業務に従事するに必要な能力及びその基礎となる豊かな見識を養うことを目的としています。

入学者の受入れにあたっては、修士課程・博士前期課程における研究を基盤として、各専攻分野の学術研究に真摯に取り組む意志と能力を有する学生を求めます。

目 次

募集人員／入試日程	1
出願から入学手続まで	2
インターネット出願の手順	3
博士前期課程	4～13
出願資格／出願書類と記入上の注意／出願書類提出方法／	
入学検定料及び納入方法について／受験票送付について／選考方法／	
筆記試験科目／試験場／時間割／受験当日の注意について／合格発表について／	
入学手続について／学納金等について／博士前期課程の概要／専攻の特色	
博士後期課程	14～23
出願資格／出願書類と記入上の注意／出願書類提出方法／	
入学検定料及び納入方法について／受験票送付について／選考方法／	
筆記試験科目／試験場／時間割／受験当日の注意について／合格発表について／	
入学手続について／学納金等について／博士後期課程の概要／専攻の特色	
その他	24
試験会場案内図	25

募集人員・入試日程

博士前期課程

募集人員

日本文学専攻 6人
 英米文学専攻 6人
 文化財学専攻 4人

	専攻	入試区分	出願期間	選考日	合格発表日	入学手続締切日
秋季	日本文学専攻	一般入試	郵送受付(必着) 平成28年9月20日(火) ~9月30日(金) 窓口受付 10月3日(月)・4日(火)のみ	10月8日(土)	10月12日(水)	11月25日(金)
		社会人入試				
	英米文学専攻	一般入試				
		社会人入試				
	文化財学専攻	一般入試				
		社会人入試				
春季	日本文学専攻	一般入試	郵送受付(必着) 平成29年1月30日(月) ~2月10日(金) 窓口受付 2月13日(月)・14日(火)のみ	2月21日(火)	2月23日(木)	3月17日(金)
		社会人入試				
	英米文学専攻	一般入試				
		社会人入試				
	文化財学専攻	一般入試				
		社会人入試				

博士後期課程

募集人員

日本文学専攻 3人
 英米文学専攻 3人
 文化財学専攻 2人

専攻	出願期間	選考日	合格発表日	入学手続締切日
日本文学専攻	郵送受付(必着) 平成29年1月30日(月) ~2月10日(金) 窓口受付 2月13日(月)・14日(火)のみ	2月21日(火)	2月23日(木)	3月17日(金)
英米文学専攻				
文化財学専攻				

出願から入学手続まで

①出願書類の準備

【志願票記入】

出願書類と記入上の注意 (P. 4 又は 14) を熟読し、**入学試験志願票**に記入漏れや不備のないようにしてください。

②入学検定料振込

振込期間を確認し、所定の振込用紙で郵便局より振込んでください。ATMは使用不可です。

インターネット出願の場合は、クレジットカード、コンビニエンスストアでのお支払が可能です。(P. 3「インターネット出願の手順」をご参照ください。)

③出 願

【郵送の場合】

出願用封筒を使用し、必要書類を「**願書受付センター**」へ郵送してください。締切日を確認し、必ず「簡易書留速達」で郵送してください。

【窓口の場合】

窓口受付の日時と時間を厳守し、本学入試キャリアセンター入試課(記念館地下1F)へ持参してください。

※窓口では、現金の受理はいたしませんのでご注意ください。

【インターネット出願の場合】

P. 3「インターネット出願の手順」をご参照ください。

④受験票到着

出願書類を提出後、受験票の到着まで7日ほどかかります。

受験日前日(前日宿泊予定の方は、受験日前々日)までに受験票が到着しない場合は、鶴見大学入試キャリアセンター入試課までご連絡ください。

⑤試 験 当 日

受験票を必ず持参してください。

受験する課程・専攻により時間割が異なります。P. 7 又は P. 17 の時間割を必ず確認のうえ、受付時間内に到着するようにしてください。

⑥合 格 発 表

掲示発表並びに本学ホームページにて合格発表を行います。

発表日に、合格通知書と入学関係書類を発送します。

⑦合格通知到着

合格発表日から1日～2日後

⑧入 学 手 続

学納金を入学手続締切日までに本学指定の銀行口座へお振込ください。

また、必要書類を入学手続締切日までに鶴見大学文学部教学課へ郵送してください。

インターネット出願の手順

※ご利用にあたっては、パソコン（インターネット接続・PDF閲覧可）・プリンター（A4出力）が必要です。
以下の手順を全て行うことにより、出願完了となります。

STEP 1 必要書類の準備

調査書・顔写真など必要書類が揃っているか、確認してください。

STEP 2 インターネット出願専用サイトへアクセス

次のいずれかにより、専用サイトにアクセスしてください。

■インターネット出願サイト <https://ientry.tsurumi-u.ac.jp/tsurumi/index.aspx>

■本学ホームページ <http://www.tsurumi-u.ac.jp/>

STEP 3 出願内容の入力

①画面に表示される手順や、留意事項を必ず確認してください。

②画面に従って、出願内容の選択・必要事項の入力を行ってください。

③入学検定料のお支払方法を選択してください。

「クレジットカード支払」を選択の場合、使用カード会社の画面が開きますので、その案内に従って手続きを進めてください。（VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、DCの各カードが使用できます。なお、取扱手数料はご負担ください。）

「コンビニ支払」を選択の場合、お支払に関する案内が表示されますので、確認してください。

※選択・入力した内容や、お支払に関する情報（お客様番号等）は、必ず控えておいてください。登録後の情報照会、個人情報につきご回答できない場合がありますので、十分ご注意ください。

STEP 4 出願情報の確認・登録完了（これで出願完了ではありません）

画面にて、選択・入力内容をよく確認し、間違いがなければ「出願登録完了」を選択してください。

登録が完了すると、「インターネット出願番号」が表示されますので、必ず控えておいてください。

（この番号は、「受験番号」ではありませんので、お間違えないようご注意ください。）

※入学検定料の「クレジットカード支払」を選択している場合は、この時点でご請求が確定します。

※メールアドレスを登録している場合、登録情報をメールで受信することが可能です。

STEP 5 出願書類発送ラベルの印刷

画面にて、発送の際に必要な宛先や、志願するご本人の住所・氏名・インターネット出願番号等が表示されたラベルが表示されますので、A4用紙に印刷してください。

STEP 6 入学検定料のお支払（「クレジットカード支払」選択の場合は不要）

[STEP 3] で「コンビニ支払」を選択の場合、コンビニエンスストア（ローソン・ファミリーマート・サークルKサンクス・ミニストップ・セイコーマート・デイリーヤマザキ・セブンイレブン）で入学検定料をお支払ください。

■ローソン・ミニストップ（店舗端末Loppi画面にて、次の順でお手続きください。）

各種番号をお持ちの方⇒「受付番号（8桁）」入力⇒「確認番号（9桁）」入力

■ファミリーマート（店舗端末Famiポート画面にて、次の順でお手続きください。）

代金支払⇒収納票発行⇒企業コード「20020」入力⇒「注文番号（8で始まる12桁）」入力

■サークルKサンクス（店舗端末Kステーション画面にて、次の順でお手続きください。）

各種支払⇒6ケタの番号をお持ちの方⇒「受付番号（6桁）」入力⇒「電話番号」入力

■セイコーマート（店舗端末クラブステーション画面にて、次の順でお手続きください。）

インターネット受付⇒「受付番号（6桁）」入力⇒「電話番号」入力

■デイリーヤマザキ

店頭レジにて「オンライン決済」と伝え、「オンライン決済番号（4桁-7桁）」を提示して直接お支払

■セブンイレブン

店頭レジにて、印刷した「払込票」、あるいはメモした「払込票番号」を提示して直接お支払

※取扱手数料はご負担ください。

※ [STEP 3] で「クレジットカード支払」を選択の場合、[STEP 4] の「出願登録完了」によりご請求（カード決済）が確定しますので、重ねて入学検定料をお支払いいただく必要はありません。

STEP 7 必要書類の提出

[STEP 5] で印刷した出願書類発送ラベルを、市販の角型2号封筒（タテ332mm×ヨコ240mm）の表面に貼付し、必要書類（調査書・写真等）を全て封入して、郵送（簡易書留速達）してください。

※本学で書類受領と共に、入学検定料お支払の確認が取れましたら、**出願完了**となり受験票を発行します。

【注意】・入学検定料のお支払前に出願内容の誤りに気付いた場合、入学検定料を納入せずに、再度 [STEP 3] 出願内容の入力からお手続きをやり直してください。

・出願完了後、出願内容の登録変更は一切できませんので、入力する内容は十分確認してください。

・受験票の発送につきましては、P.6, P.16を参照してください。

博士前期課程

出願資格

【一般入試】

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込の者
- (2) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込の者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者

【社会人入試】

大学卒業後、3 年以上経過した者

出願書類と記入上の注意

●郵送・窓口出願の場合

入学試験志願票	<p>※本学所定用紙を使用してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専攻、課程の該当する番号を○で囲んでください。 2. 住所欄は、必ず連絡の取れる住所、電話番号を記入してください。 3. 所定欄に写真を貼付けてください。(1 枚) 4. 「履歴」も必ず記入してください。
入学検定料納付証明書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学検定料を郵便局で払込み、受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を糊付け部分欄に貼付してください。 2. ご依頼人住所氏名は、受験者本人の氏名とし、志願専攻を○で囲んでください。 3. 「振替払込請求書兼受領証」は、本人保管用として大切に保管してください。 <p>※郵便局のみの取扱いとなります。</p>
調 査 書	<p>本学所定用紙を使用してください。</p> <p>※鶴見大学文学部卒業者及び卒業見込み者は、在学中の状況及び所見欄・推薦書欄の記入は不要です。</p>
卒業証明書又は 卒業見込証明書	<p>大学において記入厳封のうえ交付されたものを提出してください。</p> <p>（※各選考日より 3 箇月以内に発行されたものに限ります。）</p>
単 位 成 績 証 明 書	
「在留カード」の写し(コピー)	<p><u>外国籍の受験生のみ</u>提出してください。</p>
研 究 計 画 書	<p>専攻しようとする分野のテーマについて、下記の書式に従い提出してください。（題名・氏名を必ず明記すること。）</p> <p>【日本文学専攻】A4 判（縦・横書き、いずれも可） 一般入試志願者 600 字程度、社会人入試志願者 2,000 字程度</p> <p>【英米文学専攻】A4 判（横書き）2,000 字程度</p> <p>【文化財学専攻】A4 判（縦・横書き、いずれも可）2,000 字程度</p>

注 1) 写真は、正面上半身、白黒・カラー共に可、背景なし、縦 4cm、横 3 cm、枠なし、提出日の 3 箇月以内に撮影したもので鮮明なもの。裏面に氏名を記入して貼付けてください。

注 2) 入学試験志願票の記入は、黒のペン又はボールペン（鉛筆や消えるペンは使用不可）を使用してください。

注 3) 記入不要欄を除き、楷書で明確に記入してください。

●インターネット出願の場合（別途郵送が必要となるもの）

写 真	1枚提出してください。 正面上半身、白黒・カラー共に可、背景なし、縦4cm、横3cm、枠なし、提出日の3箇月以内に撮影したもので鮮明なもの。 裏面に氏名・生年月日を記入してください。
調 査 書	本学所定用紙を使用してください。 ※鶴見大学文学部卒業生及び卒業見込み者は、在学中の状況及び所見欄・推薦書欄の記入は不要です。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	大学において記入厳封のうえ交付されたものを提出してください。 （※各選考日より3箇月以内に発行されたものに限りです。）
単 位 成 績 証 明 書	
「在留カード」の写し(コピー)	<u>外国籍の受験生のみ提出してください。</u>
研 究 計 画 書	専攻しようとする分野のテーマについて、下記の書式に従い提出してください。 (題名・氏名を必ず明記すること。) 【日本文学専攻】A4判(縦・横書き、いずれも可) 一般入試志願者600字程度、社会人入試志願者2,000字程度 【英米文学専攻】A4判(横書き)2,000字程度 【文化財学専攻】A4判(縦・横書き、いずれも可)2,000字程度

出願書類提出方法

郵送⇒簡易書留速達で郵送してください。

窓口⇒窓口受付時間 9時00分～16時00分

出願場所 入試キャリアセンター入試課（記念館地下1階）※窓口での現金受理はいたしません。

出願書類一式を所定の封筒に入れ提出してください。なお、一度受理した提出書類並びに入学検定料は、返還いたしません。疾病・負傷等身体に障害があり、受験に際し特別の措置を希望する受験生は、必ず出願前（**※各選考日の1箇月前まで**）に申出てください。

入学検定料及び納入方法について

■入学検定料

35,000円（郵送・窓口出願の場合）

なお、次の場合は入学検定料が減額になりますので、以下の各項目をご確認のうえ納入してください。

①インターネット出願の場合（インターネット出願割引）

インターネット出願をすると、入学検定料が**5,000円減額**となります。

出願方式	入学検定料
郵送・窓口出願	35,000円
インターネット出願	30,000円

②東日本大震災及び大規模自然災害等による「災害救助法」適用地域において被災した場合

（被災受験生に対する入学検定料の免除）

東日本大震災及び過去2年以内に「災害救助法」が適用された地域にて被災した受験生で、罹災(被災)証明書等とともに本学所定の「入学検定料免除申請書」を提出された方に対し、入学検定料を全額免除いたします。「入学検定料免除申請書」の様式等、詳細につきましては、本学ホームページ(<http://www.tsurumi-u.ac.jp>)をご覧ください。

※該当する方は出願前に本学ホームページをご確認のうえ、申請書類は必ず必要書類とともに提出してください。なお、合格発表後の申請は一切受けられませんので、ご注意ください。

※「災害救助法」適用地域については、内閣府ホームページ(http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html)をご覧ください。

■納入方法 ※インターネット出願の場合は、P. 3をご参照ください。

〔郵便局の場合〕

- (1) 納入には、本学所定の**払込用紙**を使用してください。
- (2) 払込用紙に金額等必要事項を記入し、郵便局（ゆうちょ銀行）窓口にて納入してください。
- (3) 納入後、受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を「入学検定料納付証明書」糊付け部分に貼付してください。「振替払込受付証明書（お客さま用）」に受付郵便局日附印の無いものは無効です。

■入学検定料に関する注意

納入された入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

- ・ 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- ・ 検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合
- ・ 検定料を誤って、所定の金額よりも多く納入した場合

返還請求方法

本学入試キャリアセンター入試課までお問合せください。「入学検定料返還願（本学所定用紙）」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ、入試キャリアセンター入試課まで提出してください。

受験票送付について

- ① インターネット出願と郵送での出願書類提出の場合、受験票はハガキ形式になっています。記載内容を確認し訂正が必要な場合は、鶴見大学入試キャリアセンター入試課へご連絡ください。
- ② インターネット出願と郵送での出願の際、受験票発送には、出願書類受理後、7日ほどかかります。遠方より受験をする場合は、早めに出願をしてください。試験前々日までに到着しない場合は、鶴見大学入試キャリアセンター入試課までご連絡ください。
- ③ 受験票は、選考日当日、合格発表の際に必要です。紛失しないように保管してください。

選考方法

【一般入試】

筆記試験、口述試問、調査書、研究計画書による総合判定

【社会人入試】

《日本文学専攻》

口述試問、調査書、研究計画書による総合判定

《英米文学専攻》

筆記試験（外国語科目としての英語）、面接、調査書、研究計画書による総合判定

《文化財学専攻》

口述試問、調査書、研究計画書による総合判定

筆記試験科目

【一般入試】

専攻	専門科目	外国語科目
日本文学専攻	日本文学・日本語学	英語・フランス語・ドイツ語・中国語のうちから出願時に1か国語選択 (辞書持込可 ただし電子辞書は不可)
英米文学専攻	英米文学・英米文化・英語教育・英語学・人文情報学のうちから出願時に1分野選択	英語・フランス語・ドイツ語・中国語のうちから出願時に1か国語選択(フランス語・ドイツ語・中国語は辞書持込可 ただし電子辞書は不可)
文化財学専攻	歴史学・考古学・美術史学・文化財科学・人文情報学	英語(辞書持込可 ただし電子辞書は不可)

注1) 文化財学専攻の専門科目は、5分野より各分野複数出題するので、2問を選択し解答してください。

(ただし、2分野にわたっての解答も可)

注2) 外国語科目の受験について、英語・フランス語・ドイツ語・中国語のいずれかを母語とする受験者は、母語を除く外国語を選択するか、日本語受験を申請してください。

【社会人入試】

専攻	外国語科目
英米文学専攻	英語（辞書持込可 ただし電子辞書は不可）

試験場 . . . 本学（P. 25 を参照）

時間割

【一般入試】＊秋季・春季

	日本文学専攻	英米文学専攻	文化財学専攻
9：00～9：25		受	付
9：25～9：30		出欠調査・問題配付	
9：30～11：30		専門科目	
11：50～11：55		出欠調査・問題配付	
11：55～12：55		外国語科目	
12：55～13：45		昼	食
13：45～13：50		出欠調査	
13：50～		口述試問	

【社会人入試】＊秋季・春季

	日本文学専攻	文化財学専攻
13：15～13：45	受	付
13：45～13：50	出欠調査	
13：50～	口述試問	

	英米文学専攻
11：20～11：50	受
11：50～11：55	出欠調査・問題配付
11：55～12：55	外国語科目
12：55～13：45	昼
13：45～13：50	出欠調査
13：50～	面接

受験当日の注意について

熟読のうえ入学試験に臨んでください。

- (1) 受験票は必ず持参してください。万一、受験票を紛失したり忘れた場合は、入場の際に受付に申出て仮受験票の交付を受けてください。
- (2) 試験場入場の際、受付において係員が受験票を確認しますので提示してください。
- (3) 試験場は、受付開始時刻から入場できます。受験番号により案内しますので受験番号を確認しておいてください。出欠調査開始時刻までに、受験番号が貼付けられた指定の席に着席してください。
- (4) 試験場内では試験監督者の指示に従ってください。
- (5) 試験場内では、携帯電話等の電源を切ってカバンに収納してください。
- (6) 筆記試験の解答には、鉛筆を使用してください。
- (7) 筆記試験中机の上に置けるものは、受験票・鉛筆・消しゴム・時計（時刻表示以外の機能を備えているものは使用禁止、アラームは消しておくこと。）のみとし、これ以外の所持品は置かないでください。下敷きを持参しても使用できません。必要な時は試験監督者に申出てください。
- (8) 上履きを用意する必要はありません。
- (9) 試験終了まで試験場の外には出られません。午後まで試験のある受験生は、昼食を持参してください。試験場内での昼食の販売は行いません。
- (10) 付添者は試験場に入場できませんので、控室でお待ちください。

【入学試験時の不測の事態の対応について】

不測の事態（気象災害、交通事故又は災害等により交通機関の運行に支障をきたした場合等）の対応窓口・お問合せ先は下記のとおりです。

鶴見大学入試キャリアセンター入試課 Tel 045-580-8219・8220

合格発表について

■掲示発表

本学記念館地下1階 入試キャリアセンター入試課前で合格者の受験番号を掲示発表します。
(合格発表日当日のみ、10時00分～16時00分)

■ホームページ

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。(合格発表日当日10時00分より)

<http://www.tsurumi-u.ac.jp>

トップ画面上のバナー「合格発表」をクリックして、該当する入試の合格発表リンクよりご覧いただけます。

※合格発表をご覧いただくには、IDとパスワードの入力が必要です。IDとパスワードは、入学試験当日にお渡しする『入学試験についての注意』に記載されておりますので、紛失しないようご注意ください。

※該当する入試の合格発表リンクが表示されない場合、ご利用のブラウザにて「最新の情報に更新」(「ページを再読み込み」)を行ってください。

※閲覧可能期間は、合格発表日より7日間です。

■郵送

合格者には、合格発表日に合格関係書類一式(「入学手続要項」等)を簡易書留速達で発送します。

注) 電話による合否結果並びにIDやパスワードについてのお問合せには応じません。

入学手続について

合格者に対して「入学手続要項」を郵送します。手続方法の詳細は要項に従ってください。

- (1)学納金は入学手続締切日(入試ごとに異なりますのでご注意ください。)までに納入してください。
- (2)合格関係書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の手続きは認めません。

学納金等について

学納金は入学手続締切日までに納入してください。

(単位：円)

項目	日本文学専攻 英米文学専攻	文化財学専攻	備考
入学金	260,000	260,000	入学時のみ
授業料	670,000	670,000	年額
施設設備費	100,000	100,000	入学時のみ
計	1,030,000	1,030,000	

下記の諸費を代理徴収します。

(単位：円)

項目	日本文学専攻 英米文学専攻	文化財学専攻	備考
学会費	2,000	3,000	入学時のみ
学生保険料 [※]	2,430	2,430	入学時のみ
計	4,430	5,430	

※学生保険料は、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険であり、金額が変更される場合があります。

入学手続時納入額

(単位：円)

	日本文学専攻 英米文学専攻	文化財学専攻
全額納入の場合	1,034,430	1,035,430
授業料分納の場合	699,430	700,430

- (1) 授業料は2回に分けて納入することができます。分納額の納入期限は、入学年度の9月末日です。
- (2) 入学手続期間内に書類の提出及び学納金等の納入手続きをしない場合は入学を許可しません。
- (3) 鶴見大学卒業生は、入学金を半額免除とし、施設設備費は全額免除します。

博士前期課程の概要

趣 旨

本学は、禅の精神に基づく社会福祉の増進と、社会文化の向上に貢献すべく、昭和 38 年、文学部（日本文学科・英米文学科（平成 14 年 4 月英語英米文学科に名称変更））をもって開学し、昭和 45 年に歯学部、昭和 52 年に大学院歯学研究科を設置、平成元年に至り、大学院文学研究科修士課程（日本文学専攻・英米文学専攻）を開設した。さらに日本文学専攻は平成 6 年に、英米文学専攻は平成 9 年に、それぞれ修士課程を吸収して、日本文学専攻博士前期・後期課程、英米文学専攻博士前期・後期課程として新たに発足した。

また、平成 10 年 4 月、文学部既設の 2 学科に加え文化財学科を設置した。この文化財学科を基礎とする大学院文学研究科文化財学専攻博士前期・後期課程を平成 14 年 4 月増設した。

文学研究科博士前期課程は、文学部における教育の基礎のうえに、広い視野に立って精深な学識を受け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うことを目的として、志有る人材を広く求めるものである。

研究科・専攻

研 究 科	専 攻
文学研究科	日本文学専攻
	英米文学専攻
	文化財学専攻

標準修業年限 2 年

入学定員・収容定員

研 究 科	専 攻	入 学 定 員	収 容 定 員
文学研究科	日本文学専攻	6 人	12 人
	英米文学専攻	6 人	12 人
	文化財学専攻	4 人	8 人

課程の修了

2 年以上在学し、所定の授業科目について 32 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、本学の行う修士論文の審査及び最終試験に合格することを要する。

学位授与

本学文学研究科博士前期課程において所定の課程を修了した者に対して日本文学専攻及び英米文学専攻は修士（文学）、文化財学専攻は修士（文化財学）の学位を授与する。

専攻の特色

日本文学専攻

- (1) 日本文学は古典と近代とを問わず、いずれも文献資料による検証を繰り返し、問題の解明を図るという文献学的方法を基本とした教育・研究を推進する。
- (2) 文学部日本文学科開設以来、図書館と協力して、古典では、源氏物語・歌書・連歌書を中心とした典籍、近代では、広汎な作家の自筆原稿・初版本・文芸雑誌などの稀覯本の蒐集に努めてきた。これらをもとに、文献学の基礎である書誌学の方法を、原典に即して指導する。
- (3) 基本的な資料解釈の方法を学ぶ必修の文献読解科目（Ⅰ群）の上に、研究科目（Ⅱ群）と演習科目（Ⅲ群）を組み合わせることで研究対象を正確に把握し、基礎学力が身につく教育課程を構成した。
- (4) 今日の日本文学研究は多岐に深化して、単にみずからの領域のみにとどまらず、隣接諸学の援用が是非とも必要である。日本文学と関係の深い日本語学の相互補完は勿論、さらに書誌学・日本史学・中国文学・仏教文学などが特に重視され、これ等を併せ教授することによって、視野の広い国際社会にも通用する日本文学研究者を育成する。
- (5) 特に古典文学や近代文学研究に必要な日本文化や西欧文化の学習に対応するため、他専攻科目の履修ができるよう配慮した。
- (6) 教育職・専門職等、広く社会で活動する人材育成のために、総合的な読解力や幅広い知識の獲得を支援する。

専任教員及び研究分野（平成 28 年度）

氏名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
高田 信敬	教授	中古文学	源氏物語・和歌・歴史と文学
中川 博夫	教授	中世文学、和歌文学	中世歌学書、藤原定家、関東歌壇、京極派等
片山 倫太郎	教授	近代文学	川端康成他、大正・昭和文学
新沢 典子	准教授	上代文学	万葉集
神林 尚子	講師	近世文学	江戸戯作・草双紙
伊倉 史人	教授	和歌文学・日本書誌学	歌学書・中世古今集注・江戸期の叢書（群書類従、丹鶴叢書等）
久保木 秀夫	准教授	中古中世文学	和歌・中古仮名散文、古写本・古筆切
金 文京	教授	中国文学	近世戯曲小説・東アジア比較文学

開設科目

授業科目		単位	授業科目		単位
Ⅰ群	文献読解Ⅰ（古典）	2	Ⅱ群	日本文学演習Ⅰ	4
	文献読解Ⅱ（近代）	2		日本文学演習Ⅱ	4
	文献読解Ⅲ（漢文）	2		日本文学演習Ⅲ	4
	文献読解Ⅳ（日本語学）	2		日本文学演習Ⅳ	4
Ⅱ群	日本文学研究Ⅰ（上代）	4		日本文学演習Ⅴ	4
	日本文学研究Ⅱ（中古）	4		日本語学演習	4
	日本文学研究Ⅲ（中世）	4		日本史史料演習	4
	日本文学研究Ⅳ（近世）	4		日本書誌演習Ⅰ（古典）	4
	日本文学研究Ⅴ（近代）	4		日本書誌演習Ⅱ（近代）	4
	日本語学研究	4			
	中国文学研究	4			
	日本書誌研究	4			
	人文情報管理研究	4			
人文情報検索研究	4				

※修了所要単位 32 単位のうちⅠ群より 4 科目 8 単位、Ⅱ群、Ⅲ群よりそれぞれ 3 科目 12 単位以上を履修し、単位を修得しなければならない。なおⅠ群は必修とし原則として 1 年次に履修すること。

専攻の特色

英米文学専攻

学部学科及びカリキュラムの改正にともない、また現今の学問領域の多様化、超域化にともなって、英米文学、英語学、英米文化に加え人文情報学、表象文化や比較文学・文化など、院生の幅広い研究ニーズに対応した指導体制をとっている。具体的には以下のとおりである。

- (1) 文学部開設以来積み重ねてきた英米文学・英語学の正統的な方法を基準に、英米文学・英語学の研究をさらに深める。
- (2) 学部において設置されている英米文化研究あるいは表象文化研究をさらに深めて研究する。
- (3) 学部に設置され、鶴見大学比較文化研究所を有する比較文学・文化研究をさらに深めて研究する。
- (4) 上記研究を達成するために、総合的英語力養成に十分配慮する。
- (5) 学部ドキュメンテーション学科に設置されている人文情報管理に関する研究をさらに深める。
- (6) コンピューターを利用した情報処理についての理解を深め、技術を習得する。
- (7) 以上の研究を補完するために、言語学研究・異文化間コミュニケーション研究・ヨーロッパ文学文化研究・アカデミックライティング・アカデミックプレゼンテーション・人文情報検索研究などの科目を置いている。

専任教員及び研究分野（平成28年度）

氏名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
マーティン・C・コネリー	准教授	中世英文学／イギリス文学／アイルランド文学／英米文化／Oral & Written English Communication	Arthurian Romance, Awntyrs Off Arthure, Trentals of St Gregory/James Joyce studies/modern poetry and novel in U.K. & Ireland /English speaking & writing skills
菅野素子	講師	イギリス文学、英語文学、文学批評	イギリス文学、特に戦後のイギリスに移動してきた作家の作品を研究しています。複数の言語や文化の狭間に生きる作家がどのように場を切り開いているかに関心があります。
深谷素子	准教授	アメリカ文学・アメリカ文化。文学作品を用いた英語教育。	20世紀の小説（F. Scott Fitzgerald など）を中心に、資本主義社会とアメリカ文学、文化の関わりについて。多読を中心に、文学作品を英語教育に用いる意義と効果の研究。
鈴木周太郎	講師	アメリカ史、ジェンダー研究	初期アメリカの女子教育について、特にヨーロッパとの思想の交流と関連づけながら考察する。
草薙優加	教授	英語教授法、応用言語学、第二言語習得論、非言語コミュニケーション、身ぶり、多読、ドラマ・イン・エデュケーション	英語教育における談話と相互行為（非言語コミュニケーション、身ぶり、マルチモダリティ）、英語教育と教養・表現（読書、アート、ドラマ）を、主に質的研究法を用いて研究する。
松山明子	准教授	言語社会学、ウェールズのバイリンガリズム	異なる言語の話者がいる多文化社会の課題についてウェールズ語復興の事例から考察する。
宮下治政	准教授	英語学	英語統語論・比較統語論・生成文法理論（極小主義）・言語変化（英語史）
根岸純子	准教授	英語科教育、応用言語学、第二言語習得、スピーキング	複数話者（ペアあるいはグループ）によるオール・インタラクションおよび評価基準に関する研究。量的研究は統計処理中心、質的研究は会話分析などを実施している。
加川順治	教授	西ヨーロッパの詩・小説・哲学。ボードレー、プルースト（仏）、ダンテ、ヴィーコ、モンターレ（伊）、ガルシア＝ロルカ、アレクサンドレ（西）	より善く生きる勇気を絶望的な現実の直視に汲む、という西欧文化の傾向の最も価値ある成果を、強固にペシミスティックな外観を呈する（そのレベルだけで論じられがちな）作家たちに見る。
富岡悦子	教授	ドイツ文学・文化、比較文学・文化	ドイツ語圏の近現代詩、特にP. ツェラン研究。ドイツと日本にみられる植物詩の比較研究
角田裕之	教授	図書館情報学、計量書誌学	図書館に関する経営情報や利用情報、文献の書誌等を計量し、相関関係や因果関係を考察する。
大矢一志	教授	情報処理	電子資料論、人文資料の計算機処理
元木章博	教授	教育情報学、福祉情報工学、図書館情報学（特に障害者サービス）	ICTを活用し、公的サービス機関や教育組織等における問題を解決に導く研究を実施します。その対象は、図書館や学校、大学、福祉施設等です。
田辺良則	教授	情報学、計算機科学	計算機システムの仕様と挙動を、離散数学を用いたモデリングによって解析する手法の研究

開設科目

授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位
イギリス文学演習	4	異文化間コミュニケーション研究	4
アメリカ文学演習	4	アカデミック・ライティング	4
英語学演習	4	アカデミック・プレゼンテーション	4
英米文化演習	4	人文情報管理演習	4
イギリス文学研究	4	人文情報管理研究	4
アメリカ文学研究	4	人文情報検索研究	4
英語学研究	4	人文情報演習Ⅰ	4
英米文化研究	4	人文情報演習Ⅱ	4
ヨーロッパ文学・文化研究	4	英語教育研究	4
比較文学・文化研究	4	英語教育演習	4
言語学研究	4	国際文化研究	4
表象文化研究	4		

※修了所要単位は 32 単位。

専攻の特色

文化財学専攻

文化財学専攻は、「文献資料」、「考古資料」、「美術工芸資料」、「分析・保存」の四つの専門分野を設定し、文化財学全般についての深い知見を有する人材の育成を通じ、指導的な研究者と専門的職業人の両者の養成を図る。文化財学専攻の四つの分野での教育・研究の特色は以下のとおり。

(1) 文献資料分野

文献資料を主な研究対象とし、古文書・古典籍関係を基礎とした高度な文献資料学の掘り下げに取り組む。本学が所蔵する日本史関係の文献資料を考究し、文化財学に必要な諸資料の読解・分析力を養うことを教育指導の特色とする。また、古文書の実物を用い、整理しつつ破損を修復するためのより高度な技術の習熟にも配慮する。

(2) 考古資料分野

物質資料を主な研究対象とする考古資料の分野では、歴史時代の遺跡を主とし、発掘に伴う出土品ばかりでなく、史料や伝世品をも参照しつつ、広義の歴史学を追究する研究法を教授する。さらに物質資料の化学的な調査・分析法と資料の保存を視野に入れた技術力を備えた秀でた研究者を養成するための指導・教育を行う。

(3) 美術工芸資料分野

美術工芸資料の分野では、文化財を生み出した技術の特質を解明することに重点を置き、実物を取り扱い保存修理に寄与できる優れた伝統的技術を持った研究者の養成を目指す。

(4) 分析・保存分野

文化財の保存・分析の分野では、文化財のもつ材質の科学的特性を調査・分析し、保存・修復までをなし得る高度な技術を身につけた研究者を養成し、遺物・遺跡保存や工芸品の修復・保存技術について実際的な研究を行う。古都鎌倉には、多くの神社に秀でた美術・工芸品が伝世されており、市内の遺跡からは多量の考古学遺物が出土している。これらの実物に即した研究を行う。

(5) 上記の四分野は相互に関連する所が多く、二分野以上にまたがる研究を行うことにより学際的、総合的な教育・研究を通じ、新たな文化財学を構築する。

専任教員及び研究分野（平成28年度）

氏名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
田中 和彦	准教授	考古学	東南アジア考古学
石田 千尋	教授	歴史学	日蘭交渉史
小池 富雄	教授	工芸史	漆工史
小林 恭治	教授	日本語史	文字史
伊藤 正義	教授	歴史学、考古学	戦国城郭史
宗 秀明	教授	考古学	考古学
緒方 啓介	准教授	美術史	東洋・日本彫刻史
下室 覚道	教授	仏教史	禅宗史
星野 玲子	准教授	文化財科学	石造文化財
河西 由美子	教授	情報処理	情報探索学

開設科目

授業科目		単位	授業科目		単位
A群	文化財学特殊講義Ⅰ（文献資料学）	4	B群	文化財学演習Ⅰ（文献資料学）	4
	文化財学特殊講義Ⅱ（文献資料学）	4		文化財学演習Ⅱ（考古資料学）	4
	文化財学特殊講義Ⅲ（考古資料学）	4		文化財学演習Ⅲ（美術・工芸資料学）	4
	文化財学特殊講義Ⅳ（考古資料学）	4		文化財学演習Ⅳ（分析・保存科学）	4
	文化財学特殊講義Ⅴ（美術・工芸資料学）	4		文化財学演習Ⅴ（情報探索学）	4
	文化財学特殊講義Ⅵ（美術・工芸資料学）	4	C群	建築文化財特殊講義	4
	文化財学特殊講義Ⅶ（分析・保存科学）	4		日本仏教史特殊講義	4
	文化財学特殊講義Ⅷ（人文情報検索研究）	4		文献資料演習（文字・訓点）	4
			人文情報管理研究	4	

※修了所要単位は32単位。ただしA群より3科目12単位以上、B群より2科目8単位以上を履修し、単位を修得しなければならない。

博士後期課程

出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者及び平成 29 年 3 月修士の学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたる者

出願書類と記入上の注意

●郵送・窓口出願の場合

入学試験志願票	<p>※本学所定用紙を使用してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専攻、課程の該当する番号を○で囲んでください。 2. 住所欄は、必ず連絡の取れる住所、電話番号を記入してください。 3. 所定欄に写真を貼付けてください。(1枚) 4. 「履歴」も必ず記入してください。
入学検定料納付証明票	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学検定料を郵便局で払込み、受領した「振替払込受付証明書(お客さま用)」を糊付け部分欄に貼付けてください。 2. ご依頼人住所氏名は、受験者本人の氏名とし、志願専攻を○で囲んでください。 3. 「振替払込金請求書兼受領証」は、本人保管用として大切に保管してください。 <p>※郵便局のみの取扱いとなります。</p>
調 査 書	<p>本学所定用紙を使用してください。</p> <p>※ただし、本学文学研究科博士前期課程(修士課程)修了者及び修了見込み者は、在学中の状況及び所見欄・推薦書欄の記入は不要です。</p>
修了証明書又は 修了見込証明書	<p>大学(大学院)において記入厳封のうえ交付されたものを提出してください。</p> <p>(※選考日より3箇月以内のものに限ります。)</p>
単 位 成 績 証 明 書	
「在留カード」の写し(コピー)	※ <u>外国籍の受験生のみ</u> 提出してください。
所 属 長 の 受 験 許 可 書	※ <u>在職中の志願者のみ</u> 提出してください。
修 士 論 文 等	<p>【日本文学専攻】修士論文又はこれに準ずる論文。それぞれ要旨をつけてください。</p> <p>【英米文学専攻】修士論文の写し及びその要旨又はこれに準ずる既発表論文 修士論文が日本語で表記されている場合は英文の概要を、英語で表記されている場合は日本語での概要を提出してください。概要は日本語の場合は 2,000 字程度、英語の場合は 800 ワード程度を目安とします。</p> <p>【文化財学専攻】修士論文の写し及びその要旨又はこれに準ずる既発表論文</p> <p>※ただし、本学文学研究科博士前期課程(修士課程)修了者及び修了見込み者は、提出不要です。</p>
研 究 計 画 概 要	2,000 字程度。必ず題名・氏名を明記してください。

注1) 写真は、正面上半身、白黒・カラー共に可、背景なし、縦4cm、横3cm、枠なし、提出日の3箇月以内に撮影したもので鮮明なもの。裏面に氏名を記入して貼付けてください。

注2) 入学試験志願票の記入は、黒のペン又はボールペン(鉛筆や消えるペンは使用不可)を使用してください。

注3) 記入不要欄を除き、楷書で明確に記入してください。

●インターネット出願の場合（別途郵送が必要となるもの）

写 真	1枚提出してください。 正面上半身、白黒・カラー共に可、背景なし、縦4cm、横3cm、枠なし、提出日の3箇月以内に撮影したもので鮮明なもの。 裏面に氏名・生年月日を記入 してください。
調 査 書	本学所定用紙を使用してください。 ※ただし、本学文学研究科博士前期課程（修士課程）修了者及び修了見込み者は、在学中の状況及び所見欄・推薦書欄の記入は不要です。
修了証明書又は 修了見込証明書	大学(大学院)において記入厳封のうえ交付されたものを提出してください。 (※選考日より3箇月以内のものに限ります。)
単 位 成 績 証 明 書	
「在留カード」の写し(コピー)	※ <u>外国籍の受験生のみ</u> 提出してください。
所 属 長 の 受 験 許 可 書	※ <u>在職中の志願者のみ</u> 提出してください。
修 士 論 文 等	【日本文学専攻】修士論文又はこれに準ずる論文。それぞれ要旨をつけてください。 【英米文学専攻】修士論文の写し及びその要旨又はこれに準ずる既発表論文 修士論文が日本語で表記されている場合は英文の概要を、英語で表記されている場合は日本語での概要を提出してください。概要は日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は800ワード程度を目安とします。 【文化財学専攻】修士論文の写し及びその要旨又はこれに準ずる既発表論文。 ※ただし、本学文学研究科博士前期課程（修士課程）修了者及び修了見込み者は、提出不要です。
研 究 計 画 概 要	2,000字程度。必ず題名・氏名を明記のこと。

出願書類提出方法

郵送⇒**簡易書留速達**で郵送してください。

窓口⇒窓口受付時間 9時00分～16時00分

出願場所 入試キャリアセンター入試課（記念館地下1階）※窓口での現金受理はいたしません。

出願書類一式を所定の封筒に入れ提出してください。なお、一度受理した提出書類並びに入学検定料は、返還いたしません。疾病・負傷等身体に障害があり、受験に際し特別の措置を希望する受験生は、必ず出願前（**※選考日の1箇月前まで**）に申出てください。

入学検定料及び納入方法について

■入学検定料

35,000円（郵送・窓口出願の場合）

なお、次の場合は**入学検定料が減額**になりますので、以下の各項目をご確認のうえ納入してください。

①インターネット出願の場合（インターネット出願割引）

インターネット出願をすると、入学検定料が**5,000円減額**となります。

出願方式	入学検定料
郵送・窓口出願	35,000円
インターネット出願	30,000円

②東日本大震災及び大規模自然災害等による「災害救助法」適用地域において被災した場合

（被災受験生に対する入学検定料の免除）

東日本大震災及び過去2年以内に「災害救助法」が適用された地域にて被災した受験生で、罹災(被災)証明書等とともに本学所定の「入学検定料免除申請書」を提出された方に対し、入学検定料を全額免除いたします。「入学検定料免除申請書」の様式等、詳細につきましては、本学ホームページ (<http://www.tsurumi-u.ac.jp>) をご覧ください。

※該当する方は出願前に本学ホームページをご確認のうえ、申請書類は必ず必要書類とともに提出してください。なお、合格発表後の申請は一切受けられませんので、ご注意ください。

※「災害救助法」適用地域については、内閣府ホームページ (http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html) をご覧ください。

■納入方法 ※インターネット出願の場合は、P. 3をご参照ください。

〔郵便局の場合〕

- (1) 納入には、本学所定の**払込用紙**を使用してください。
- (2) 払込用紙に金額等必要事項を記入し、郵便局（ゆうちょ銀行）窓口にて納入してください。
- (3) 納入後、受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を「入学検定料納付証明書」糊付け部分に貼付してください。「振替払込受付証明書（お客さま用）」に受付郵便局日附印の無いものは無効です。

■入学検定料に関する注意

納入された入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

- ・ 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- ・ 検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合
- ・ 検定料を誤って、所定の金額よりも多く納入した場合

返還請求方法

本学入試キャリアセンター入試課までお問合せください。「入学検定料返還願（本学所定用紙）」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ、入試キャリアセンター入試課まで提出してください。

受験票送付について

- ① インターネット出願と郵送での出願書類提出の場合、受験票はハガキ形式になっています。記載内容を確認し訂正が必要な場合は、鶴見大学入試キャリアセンター入試課へご連絡ください。
- ② インターネット出願と郵送での出願の際、受験票発送には、出願書類受理後、7日ほどかかります。遠方より受験をする場合は、早めに出願をしてください。試験前々日までに到着しない場合は、鶴見大学入試キャリアセンター入試課までご連絡ください。
- ③ 受験票は、選考日当日、合格発表の際に必要です。紛失しないように保管してください。

選考方法

《日本文学専攻》

研究計画概要、口述試問、調査書、論文による総合判定

《英米文学専攻》

修士論文、研究計画概要、口述試問、調査書による総合判定

《文化財学専攻》

筆記試験（英語）、研究計画概要、口述試問、調査書、論文による総合判定

筆記試験科目

専攻	外国語科目
文化財学専攻	英語（辞書持込可 ただし電子辞書は不可）

試験場 ・ ・ ・ 本学（P. 25 を参照）

時間割

	日本文学専攻	英米文学専攻
13:15~13:45	受	付
13:45~13:50	出 欠	調 査
13:50~	口 述 試 問	

	文化財学専攻
11:20~11:50	受 付
11:50~11:55	出欠調査・問題配付
11:55~12:55	外 国 語 科 目
12:55~13:45	昼 食
13:45~13:50	出 欠 調 査
13:50~	口 述 試 問

受験当日の注意について

熟読のうえ入学試験に臨んでください。

- (1) 受験票は必ず持参してください。万一、受験票を紛失したり忘れた場合は、入場の際に受付に申出て仮受験票の交付を受けてください。
- (2) 試験場入場の際、受付において係員が受験票を確認しますので提示してください。
- (3) 試験場は、受付開始時刻から入場できます。受験番号により案内しますので受験番号を確認しておいてください。出欠調査開始時刻までに、受験番号が貼付けられた指定の席に着席してください。
- (4) 試験場内では試験監督者の指示に従ってください。
- (5) 試験場内では、携帯電話等の電源を切ってカバンに収納してください。
- (6) 筆記試験の解答には、鉛筆を使用してください。
- (7) 筆記試験中机上に置けるものは、受験票・鉛筆・消しゴム・時計(時刻表示以外の機能を備えているものは使用禁止、アラームは消しておくこと。)のみとし、これ以外の所持品は置かないでください。下敷きを持参しても使用できません。必要な時は試験監督者に申出てください。
- (8) 上履きを用意する必要はありません。
- (9) 試験終了まで試験場の外には出られません。午後まで試験のある受験生は、昼食を持参してください。試験場内での昼食の販売は行いません。
- (10) 付添者は試験場に入場できませんので、控室でお待ちください。

【入学試験時の不測の事態の対応について】

不測の事態(気象災害、交通事故又は災害等により交通機関の運行に支障をきたした場合等)の対応窓口・お問合せ先は下記のとおりです。

鶴見大学入試キャリアセンター入試課 Tel 045-580-8219・8220

合格発表について

■掲示発表

本学記念館地下1階 入試キャリアセンター入試課前で合格者の受験番号を掲示発表します。
(合格発表日当日のみ、10時00分~16時00分)

■ホームページ

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。(合格発表日当日10時00分より)

<http://www.tsurumi-u.ac.jp>

トップ画面上のバナー「合格発表」をクリックして、該当する入試の合格発表リンクよりご覧いただけます。

※合格発表をご覧いただくには、IDとパスワードの入力が必要です。IDとパスワードは、入学試験当日にお渡しする『入学試験についての注意』に記載されておりますので、紛失しないようご注意ください。

※該当する入試の合格発表リンクが表示されない場合、ご利用のブラウザにて「最新の情報に更新」(「ページを再読み込み」)を行ってください。

※閲覧可能期間は、合格発表日より7日間です。

■郵送

合格者には、合格発表日に合格関係書類一式（「入学手続要項」等）を簡易書留速達で発送します。
注）電話による合否結果並びにIDやパスワードについてのお問合せには応じません。

入学手続について

合格者に対して「入学手続要項」を郵送します。手続方法の詳細は要項に従ってください。

- (1) 学納金は入学手続締切日までに納入してください。
- (2) 合格関係書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の手続きは認めません。

学納金等について

学納金は入学手続締切日までに納入してください。

(単位：円)

項 目	日本文学専攻 英米文学専攻	文化財学専攻	備 考
入 学 金	260,000	260,000	入学時のみ
授 業 料	670,000	670,000	年 額
施 設 設 備 費	100,000	100,000	入学時のみ
計	1,030,000	1,030,000	

下記の諸費を代理徴収します。

(単位：円)

項 目	日本文学専攻 英米文学専攻	文化財学専攻	備 考
学 会 費	3,000	4,500	入学時のみ
学 生 保 険 料 ※	3,620	3,620	入学時のみ
計	6,620	8,120	

※学生保険料は、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険であり、金額が変更される場合があります。

入学手続時納入額

(単位：円)

	日本文学専攻 英米文学専攻	文化財学専攻
全額納入の場合	1,036,620	1,038,120
授業料分納の場合	701,620	703,120

- (1) 授業料は2回に分けて納入することができます。分納額の納入期限は、入学年度の9月末日です。
- (2) 鶴見大学卒業生は、入学金を半額免除とし、施設設備費は全額免除します。
- (3) 本学文学研究科博士前期課程修了者は、施設設備費を全額免除します。
- (4) 本学文学研究科博士前期課程より、引続き同博士後期課程に入学する場合、入学金を全額免除します。

博士後期課程の概要

趣 旨

本学は、禅の精神に基づく社会福祉の増進と、社会文化の向上に貢献すべく、昭和 38 年、文学部（日本文学科・英米文学科（平成 14 年 4 月英語英米文学科に名称変更））をもって開学し、昭和 45 年に歯学部を開設、さらに昭和 52 年には大学院歯学研究科、平成元年には、大学院文学研究科修士課程（日本文学専攻・英米文学専攻）を設置した。以後ますます教育・研究内容の充実につとめ、平成 6 年には日本文学専攻が、平成 9 年には英米文学専攻が博士後期課程を発足させるに至った。また、平成 14 年 4 月文学研究科文化財学専攻博士前期・後期課程を増設した。

博士後期課程においては、男女・年齢・国籍を問わず、真摯な研究者に更に広く門戸を開き、わが国及び英語文化圏の各時代、各分野にわたる文学・言語・文化の諸相の本質を深く探求し、その特性を解析する能力と鋭い感性を備えた優秀な学究を養成し、もって学界に新風を送りこむとともに、一般社会への貢献を果そうとするものである。

研究科・専攻

研究科	専攻
文学研究科	日本文学専攻
	英米文学専攻
	文化財学専攻

標準修業年限 3 年

入学定員・収容定員

研究科	専攻	入学定員	収容定員
文学研究科	日本文学専攻	3 人	9 人
	英米文学専攻	3 人	9 人
	文化財学専攻	2 人	6 人

課程の修了

3 年以上在学し、所定の授業科目について日本文学専攻及び英米文学専攻は 20 単位以上、文化財学専攻は 8 単位以上修得し、さらに必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査に合格し、かつ、最終試験に合格することを要する。

学位授与

本学文学研究科博士後期課程において所定の課程を修了した者に対して日本文学専攻及び英米文学専攻は博士（文学）、文化財学専攻は博士（文化財学）の学位を授与する。

専攻の特色

日本文学専攻

(1) 教育研究上の特色

博士後期課程においては、全科目を特殊研究と演習の2群に分け、特殊研究では時代別日本文学と、日本語学及び中国文学の研究を行う。また演習科目では高度の専門性を備えた演習を行いつつ、各指導教授の指導のもとで論文指導を行う。修了所要単位は20単位以上とする。3年以上在学し、所定の授業科目について20単位以上修得したものは、最終試験を受けるとともに、所定の手続きを経て博士論文を提出、審査を受けることができる。

(2) 教育課程の特色

各専門分野において指導的立場にある教授・講師陣を擁し、図書館所蔵の豊富な文献資料を駆使して、充実した研究指導を行う。特に日本文学研究では、開学時以来の学風として、広く学界に認められ評価されている、文献学的・実証的研究方法による演習を織りませ、資料の正確な読解、本文批判の方法等に熟達せしめることを重視している。日本文学におけるすぐれた博士論文提出と以降の研究活動に資するよう教育していくことは言うまでもない。

貴重文献資料による指導の具体例を若干あげれば、以下のごとくである。

(i) 古典籍関係

図書館に所蔵する多数の貴重典籍の中でも、質量ともに学界に定評のある、源氏物語関係写本・版本・古筆断簡等を軸に、源氏物語本文研究の拠点として、将来その中枢となるべき研究者を養成する。また中古・中世の歌集・歌学書や連歌関係資料も甚だ多く、また近世における多彩な出版資料の蒐集も特色の一つで、これらを生かした手堅い研究を進め得る新進を育成していく。

(ii) 近代文学関係

広汎な作家を対象とした、初版本・文芸雑誌などの稀覯本や未発表原稿・自筆短冊・書簡等の蒐集に基づき、現在の学界では未開拓のジャンルである近代書誌学の方法論を確立し、その専門家を養成する。

(iii) 日本語学関係

先述の(i)古典籍、(ii)近代文学資料のほか、本学所蔵の古辞書・蘭英和等対訳字典類など豊富な語学資料を活用して、古典語の国語史・国語学史上の研究は勿論、またさらに江戸末期から現代に至る、日本語表記・訳語・文法・文体等に関する言語学的研究を進めるべく指導する。

(iv) 仏教文学関係

日本曹洞宗の開祖道元の真筆資料をはじめ、五山版や、多数の仏教関係所蔵資料により、日本文学の基底に脈々と流れる仏教思想に注目し、その文学への影響と仏教文学の様相を考究する。

以上のような文献学的研究を基盤として、いずれの分野においても、文芸的感性と歴史的視野とをあわせ持った研究を進めることは言うまでもない。これら高度の指導にこたえて、活発な研究活動を行う優秀な研究者が多数生まれ出ることを期待している。

専任教員及び研究分野（平成28年度）

氏名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
高田 信敬	教授	中古文学	源氏物語・和歌・歴史と文学
中川 博夫	教授	中世文学、和歌文学	中世歌学書、藤原定家、関東歌壇、京極派等
片山 倫太郎	教授	近代文学	川端康成他、大正・昭和文学
新沢 典子	准教授	上代文学	万葉集
金 文 京	教授	中国文学	近世戯曲小説・東アジア比較文学

開設科目

授業科目		単位	授業科目		単位
I 群	上代文学特殊研究	4	II 群	上代文学演習	4
	中古文学特殊研究	4		中古文学演習	4
	中世文学特殊研究	4		中世文学演習	4
	近世文学特殊研究	4		近世文学演習	4
	近代文学特殊研究	4		近代文学演習	4
	日本語学特殊研究	4		日本語学演習	4
	中国文学特殊研究	4			

※指導教授の授業科目12単位を含め、20単位以上を履修し単位を修得する。

専攻の特色

英米文学専攻

(1) 教育課程の特色

博士後期課程においては、全科目を特殊研究と演習の2群に分け、特殊研究では英文学、米文学、英語学、比較文学・文化の各分野に関する高度の専門研究を行う。

3年以上在学し所定の授業科目について20単位以上修得した者は、最終試験を受けるとともに、所定の手続きを経て博士論文を提出、審査を受けることができる。

(2) 教育研究上の特色

後期課程においては、前期課程で培った研究の基礎、すなわち正確な読みと分析力を基礎に、研究者としての能力を高め、研究成果を学会や世に問うことのできる人材を育成することを目標にしている。そのため各指導教授よりなされる個人指導が後期課程の教育の中心となる。具体的には学生は指導教授の演習科目に加えて、個人指導を受けなくてはならない。また、各自の研究の周辺領域にも目配りすべきことを配慮し、演習特殊研究をあわせて20単位を最低取得単位としている。最終目標は博士論文の作成にあるので、それを目標とした研究計画を作り、それに沿った研究を進めるよう指導する。この過程で、発信力を育成し、学会発表や学会誌への投稿を奨励する。

(イ) 英文学関係

- ① 作品の深い理解と綿密な分析能力を涵養する。
- ② 研究対象となる作家や作品、テーマに関する問題発見能力を養成し、オリジナリティーのある研究を目指す。
- ③ 本学図書館には充実した原典と研究書を有している。また、文献コンテンツ契約も多くなされている。特に博士課程に於いては、先行研究を配慮し、基礎文献、関連文献を問わず、参考文献を広く渉猟することが必須となる。

(ロ) 米文学関係

- ① 作品を綿密に読む姿勢を重んじ、精密な読解に基づいた作品分析を基本とする。そのうえで、作品と不可分の関係にある社会的・文化的事象にも広く目を向け、社会・文化・歴史という大きな枠組みの中で作品を捉える視点をも養う。これにより、現代にあって文学作品を研究することの意義を見据えたい。
- ② 文学作品の背景をなす、あるいは文学作品と相関関係にある米国の文化をも研究対象とする。
- ③ 米文学の古典と目される作家・作品に関し先行研究を踏まえて研究するのは当然のこととし、近年の米国に於ける文化多元主義に鑑み、ユダヤ系や黒人作家はもとより、ネイティブアメリカン、日系、インド系、韓国系などのマイノリティー文学も積極的に研究対象に含めていく。

(ハ) 英語学関係

- ① 英語学の研究とは、第一に、英語の言語事実の精緻な観察・分析及びその理論化への志向を同等に尊重すること、第二に、研究対象を共時的観点と通時的観点の両方から等しく考察することである。
- ② 最近のわが国の英語学研究は、生成文法理論や認知言語学の強い影響の下で、言語理論構築を目指す研究に比重が置かれる傾向にあり、研究領域も社会言語学や心理言語学などへ著しく拡大し、大きな成果を上げつつあるが、本専攻ではそれらの成果を摂取することに努めつつ、統語論・形態論・音韻論・意味論・語用論などの英語学の下位分野を、上記2つの特色を基盤に据えて研究することを目的とし、これに留意した教育を心掛ける。
- ③ 上記以外には、英語と他言語の比較統語論なども研究対象となる。

(ニ) 英米文化・比較文学・英語教育その他

上記英米文学、英語学以外に、前期課程に於いて研究の範疇としている英語圏文学、英米文化研究、比較文学、国際文化研究、言語学、異文化コミュニケーション、英語教育研究、人文情報学も指導教授の承認のもと研究対象として認められる。この場合、副指導教員が指導にあたることもある。

専任教員及び研究分野（平成28年度）

氏名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
マーティン・C・コネリー	准教授	中世英文学／イギリス文学／アイルランド文学／英米文化／Oral & Written English Communication	Arthurian Romance, Awntyrs Off Arthure, Trentals of St Gregory/James Joyce studies/modern poetry and novel in U.K. & Ireland /English speaking & writing skills
菅野素子	講師	イギリス文学、英語文学、文学批評	イギリス文学、特に戦後のイギリスに移動してきた作家の作品を研究しています。複数の言語や文化の狭間に生きる作家がどのように場を切り開いているかに関心があります。
深谷素子	准教授	アメリカ文学・アメリカ文化。文学作品を用いた英語教育。	20世紀の小説（F. Scott Fitzgerald など）を中心に、資本主義社会とアメリカ文学、文化の関わりについて。多読を中心に、文学作品を英語教育に用いる意義と効果の研究。
鈴木周太郎	講師	アメリカ史、ジェンダー研究	初期アメリカの女子教育について、特にヨーロッパとの思想の交流と関連づけながら考察する。
草薙優加	教授	英語教授法、応用言語学、第二言語習得論、非言語コミュニケーション、身ぶり、多読、ドラマ・イン・エデュケーション	英語教育における談話と相互行為（非言語コミュニケーション、身ぶり、マルチモダリティ）、英語教育と教養・表現（読書、アート、ドラマ）を、主に質的研究法を用いて研究する。
松山明子	准教授	言語社会学、ウェールズのバイリンガリズム	異なる言語の話者がいる多文化社会の課題についてウェールズ語復興の事例から考察する。
宮下治政	准教授	英語学	英語統語論・比較統語論・生成文法理論（極小主義）・言語変化（英語史）
加川順治	教授	西ヨーロッパの詩・小説・哲学。ボードレール、ブルースト（仏）、ダンテ、ヴィーコ、モンターレ（伊）、ガルシア＝ロルカ、アレクサンドレ（西）	より善く生きる勇気を絶望的な現実の直視に汲む、という西欧文化の傾向の最も価値ある成果を、強固にペシミスティックな外観を呈する（そのレベルだけで論じられがちな）作家たちに見る。
富岡悦子	教授	ドイツ文学・文化、比較文学・文化	ドイツ語圏の近現代詩、特にP. ツェラン研究。ドイツと日本にみられる植物詩の比較研究

開設科目

授業科目	単位
英文学特殊研究Ⅰ	4
英文学特殊研究Ⅱ	4
米文学特殊研究Ⅰ	4
米文学特殊研究Ⅱ	4
英語学特殊研究	4
英文学演習	4
米文学演習	4
英語学演習	4
英米文化特殊研究	4
比較文学・文化特殊研究	4
英語教育特殊研究	4
国際文化特殊研究	4
異文化間コミュニケーション特殊研究	4

※指導教授の演習科目及び特殊研究12単位を含め、20単位以上を履修し、単位を修得する。

専攻の特色

文化財学専攻

文化財学専攻は、「文献資料」、「考古資料」、「美術工芸資料」、「分析・保存」の四つの専門分野を設定し、文化財学全般についての深い知見を有する人材の育成を通じ、指導的な研究者と専門的職業人の両者の養成を図る。文化財学専攻の四つの分野での教育・研究の特色は以下のとおり。

(1) 文献資料分野

文献資料を主な研究対象とし、古文書・古典籍関係を基礎とした高度な文献資料学の掘り下げに取り組む。本学が所蔵する日本史関係の文献資料を考究し、文化財学に必要な諸資料の読解・分析力を養うことを教育指導の特色とする。また、古文書の実物を用い、整理しつつ破損を修復するためのより高度な技術の習熟にも配慮する。

(2) 考古資料分野

物質資料を主な研究対象とする考古資料の分野では、歴史時代の遺跡を主とし、発掘に伴う出土品ばかりでなく、史料や伝世品をも参照しつつ、広義の歴史学を追究する研究法を教授する。さらに物質資料の化学的な調査・分析法と資料の保存を視野に入れた技術力を備えた秀でた研究者を養成するための指導・教育を行う。

(3) 美術工芸資料分野

美術工芸資料の分野では、文化財を生み出した技術の特質を解明することに重点を置き、実物を取り扱い保存修理に寄与できる優れた伝統的技術を持った研究者の養成を目指す。

(4) 分析・保存分野

文化財の保存・分析の分野では、文化財のもつ材質の科学的特性を調査・分析し、保存・修復までをなし得る高度な技術を身につけた研究者を養成し、遺物・遺跡保存や工芸品の修復・保存技術について実際的な研究を行う。古都鎌倉には、多くの神社に秀でた美術・工芸品が伝世されており、市内の遺跡からは多量の考古学遺物が出土している。これらの実物に即した研究を行う。

(5) 上記の四分野は相互に関連する所が多く、二分野以上にまたがる研究を行うことにより学際的、総合的な教育・研究を通じ、新たな文化財学を構築する。

専任教員及び研究分野（平成28年度）

氏名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
石田千尋	教授	歴史学	日蘭交渉史
小池富雄	教授	工芸史、保存科学	漆工史
伊藤正義	教授	歴史学・考古学	日本戦国時代史
宗・秀明	教授	考古学	考古学
下室覚道	教授	仏教史	禅宗史
緒方啓介	准教授	美術史	東洋・日本彫刻史
星野玲子	准教授	文化財科学	石造文化財

開設科目

授業科目	単位
文化財学特殊研究Ⅰ（文献資料学）	4
文化財学特殊研究Ⅱ（考古資料学）	4
文化財学特殊研究Ⅲ（美術・工芸資料学）	4
文化財学特殊研究Ⅳ（分析・保存科学）	4
研究指導	

※8単位以上を修得する。

そ の 他

教育職員免許状の取得

- (1) 中学校・高等学校教諭一種免許状をすでに取得している者が、本学文学研究科博士前期課程を修了し所定の単位を修得した場合には、中学校・高等学校教諭専修免許状が授与される。
- (2) 初めて教職課程の所定の単位を修得しようとする者は、科目等履修生として教職課程の所定の単位を修得すれば、同様に免許状を取得することができる。

研 究 科	専 攻	免許教科
文学研究科	日本文学専攻	国 語
	英米文学専攻	外国語（英語）
	文化財学専攻	社会・地理歴史

奨学金制度

次の奨学金制度がある。

- (1) 本学奨学金
毎年度、各専攻若干名に対して奨学金を給付する。
- (2) 日本学生支援機構奨学金（貸与）
- (3) その他の奨学金
地方自治体並びに民間育英事業団体等

試験会場案内図

【本学試験会場案内図】

※試験場の下見などのために
校舎内に入ることはできません。



- [交通] ●JR 京浜東北線「鶴見駅」西口より徒歩5分
●京浜急行線「京急鶴見駅」西口より徒歩7分
曹洞宗大本山總持寺境内入口…*



本学ホームページでも、案内図をご覧いただけます。携帯電話・スマートフォンはこちらから →

※入学試験に関する個人情報の取扱いについて

本学では、入学試験志願票に記載いただいた氏名・連絡先等に関する情報、また、成績証明書等の個人情報は、厳重に取扱い、入学選抜以外の目的に使用することはありません。

●お問合せ先

- 【出願書類・手続に関すること】 鶴見大学願書受付センター**
電話番号 044-430-1324
受付時間：平日9：00～17：00
(出願期間中のみ受付)
- 【その他入試全般に関すること】 鶴見大学入試キャリアセンター入試課**
受付時間：平日9：00～16：00
土曜9：00～12：00

鶴見大学入試キャリアセンター入試課

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

TEL 045-580-8219・8220